

報道機関各位



我孫子市

Abiko city

令和5年2月20日  
定例記者会見資料

言葉・絵筆によって表現された安息の地・我孫子を紹介  
春期企画展「我孫子を詠む・描く」

杉村楚人冠に「安息の地」と言わしめた風光明媚な我孫子は、楚人冠だけでなく、我孫子へ訪れた多くの人々に愛されました。本展示では、我孫子を題材とした俳句・漢詩・絵画作品などを紹介します。

期 間：令和5年3月7日（火）～5月7日（日）※月曜休館（祝日の場合は翌平日）

開館時間：午前9時～午後4時30分（入館4時まで）

場 所：杉村楚人冠記念館

入館料：300円（高校・大学生200円、中学生以下無料）

展示作品の中から、おすすめの作品2点を紹介します。

◎虚子（高浜虚子） 短冊「沼べりの 寒さを愛し たりけんか」昭和26年

楚人冠公園にある楚人冠句碑建立に際し、高浜虚子より献句されたものです。楚人冠は生前、虚子に選句を依頼しており、両者には交流がありました。虚子は「この寒さを愛したのだろうか」と、手賀沼のほとりに暮らした楚人冠の姿を詠んでいます。

◎末松勇 油彩画「初秋手賀沼風景」（海老原イチコさん寄贈）

初秋の手賀沼と穏やかな我孫子の地を、しっとりとした筆致で描き上げた作品です。末松勇は、藤島武二や岡田三郎助に師事し、写実描写とその技術を重んじる一水会の会員として活躍していました。

【問い合わせ】

我孫子市教育委員会

生涯学習部文化・スポーツ課

杉村楚人冠記念館 担当：武藤

☎ 04-7187-1131



沼べりの寒さを  
愛したりけんか

末松勇画《初秋手賀沼風景》／虚子（高浜虚子）[沼べりの寒さを愛したりけんか]

春期企画展

# 我孫子を詠む・描く

千葉県我孫子市……

それは創造力の源、偉大なる自然の芸術家

令和5年3月7日(火)～5月7日(日)



我孫子市杉村楚人冠記念館  
春期企画展「我孫子を詠む・描く」

開館時間 午前9時～午後4時30分（入館午後4時まで）

休館日 月曜日

入館料 一般300円／高校・大学生200円 中学生以下無料

団体20名以上2割引 障がい者免除あり

3館共通券（白樺文学館・鳥の博物館共通、有効期限1か月）一般500円／高校・大学生400円

2館共通年間パスポート（白樺文学館共通、1年間入館可、特典あり）一般2,000円

交通手段 JR常磐線・成田線我孫子駅下車 南口より徒歩9分

阪東バス 緑一丁目・寿一丁目・アビスタ前下車 徒歩5分

駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。



物語の生まれるまち あびこ



我孫子市杉村楚人冠記念館

〒270-1153 千葉県我孫子市緑 2-5-5 電話 04-7187-1131